

はごろも「夢」講演会

令和6年12月6日(金) 名古屋恒彦先生(全日本特別支援教育研究連盟理事長・植草学園大学名誉教授)をお迎えして御指導いただきました。

<講演会テーマ>

「各教科等を合わせた指導」の授業づくりで大切なこと

知的障害特別支援学校の教育課程、授業づくりに精通する研究者であり、かつ、特別支援学校教員としての指導経験のある名古屋恒彦教授に、「『各教科等を合わせた指導』の授業づくりで大切なこと」を演題として御講演いただきました。



各学部の中心授業を御参観いただき、本校の授業づくりについて御助言いただくとともに、「各教科等を合わせた指導」に取り組む意義や価値、授業づくりで押さえるべき大切な視点について多くの示唆をいただきました。

※「各教科等を合わせた指導」には、「日常生活の指導」「遊びの指導」「生活単元学習」「作業学習」の4つの指導形態があります。

本校の教育目標「共に育てる 自立と輝き」にも掲げられていますが、「自立」とは、他の援助を受けない「ひとりだち」ではなく、「適切な支援条件下で、自分の力と個性を最大限に発揮してなされる取り組み」であると御教授いただきました。また、それら支援の必要性の有無を決めるのは本人自身であり、周囲が「あの支援は早く外したい。」「支援は無い方がいい。」と思うことではない、という御助言もいただきました。

本講演をきっかけに、一人一人に最適な支援を行き届かせ、子どもたちが自分の力を最大限に発揮しながら、自立的・主体的に生活できる姿を目指していきたいと、教員一同、意欲を高めることができました。